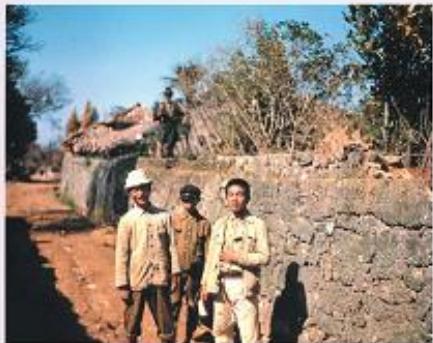


アーカイブズ

ARCHIVES

沖縄県公文書館だより 第39号

平成22年9月30日発行



米海軍撮影カラー写真資料

米国国立公文書館から収集した沖縄戦関係写真には、数は多くはありませんがカラー写真も含まれています。今回は、米海軍撮影カラー写真資料をご紹介します。

米海軍撮影カラー写真は、現在82枚公開されています。米軍は、艦砲射撃や海上での戦闘の様子を記録する一方、上記写真のように収容された住民も撮影していました。写真には、戦火を生きのびた住民の様子が鮮明に映し出されています。

(上段左から 写真番号) 80GK-5202, 80GK-5200, 80GK-5194

(下段左から 写真番号) 80GK-5190, 80GK-5196, 80GK-5195

アーカイブズ フラッシュ

職場体験

七月七日～九日

南風原町立南星中学校二年生の上地ひかるさん、前津光さんが三日間の職場体験に参加しました。

二人とも最初は緊張した様子でした

したが、しだいに職員ともうちと

け、閲覧カウンター業務や参考資

料室の整理作業を体験したり常設

展の準備作業を行いました。短い

期間でしたが、いかがでしたでし

ょうか。今度は利用者として来館

してくださいね。

び県民のみなさまに、公文書管理システムを紹介し、円滑な公文書の引継を促進するとともに、歴史的に重要な公文書の管理の重要性について理解を図ることを目的としたものです。開催中、多くの方々に足を運んでいただきました。

して、研修最終日には、公文書館資料をもとに作成した教材をDVDやパワーポイントに編集し、次のようなテーマで研究発表がありました。

- ・記録された沖縄戦・語られる沖縄戦
- ・公文書館でつくる私のルーツ
- ・沖縄の女性たち

地域パネル展
「海の沖縄戦展」
六月一日～六日

沖縄県平和祈念資料館において、地域パネル展「海の沖縄戦展」を開催しました。

地域パネル展は、公文書館の活動や展示をより多くの方にご案内することを目的に開催するものです。今年度は、このような地域パネル展を中部地域において開催する予定です。お近くの方はぜひお立ち寄りください。



県庁パネル展

七月二十六日～三十日



県庁県民ホールにて、県庁パネル展「沖縄県公文書館　わたしたちの使命」を開催しました。

県庁パネル展は、沖縄県職員及び県民のみなさまに、公文書管理システムを紹介し、円滑な公文書の引継を促進するとともに、歴史的に重要な公文書の管理の重要性について理解を図ることを目的としたものです。開催中、多くの方々に足を運んでいただきました。

十年研修

八月二日～十三日



県立学校十年経験者研修が開催され、嘉手納高校、豊見城高校、コザ高校、首里中学校から四名の先生方が参加しました。今回は、二グループに分かれて各グループ五日間の研修でした。

研修では、公文書館の業務を体験するとともに、所蔵資料の説明を受けたほか、各自テーマに沿った教材研究をおこないました。そ



県庁実務研修

公文書管理課

吉嶺 昭

私は、平成二十二年五月から十
月までの約半年間、県の総務部總
務私學課で研修をさせていただい
ています。その研修の名称を「川
上対策」と呼んでいます。県で作
成・收受された公文書は、行政上
の役割を終えた後に沖縄県公文書
館に引渡すことになっています。

つまり、公文書発生元である県
が上流の「川上」、その中から歴
史的に重要な公文書を選び保存し、
広く一般に提供する沖縄県公文書
館が「川下」という公文書の一連
の流れを川に例えてその名が付いて
います。

歴史的公文書は、県の歩みを検
証し、よりよい将来を築くための
糧となるものです。そのためには
公文書の流れが途切れることなく
公文書館に流れしていくことが望ま
れます。

研修では、

①県の文書事務を学ぶ
②公文書館の広報普及

③各課の公文書管理状況を知る
④公文書の受入

の四つを重点に取り組んでいます。
研修も、はや三ヶ月が過ぎました
が、この間、私が体験した県での
主な業務を紹介します。

行政情報センターの業務

公文書の開示に関する事務や個
人情報保護に関する事務などを担
う行政情報センターでは、昨年度
に本庁および出先機関で受けた
公文書開示請求の取りまとめに関
わりました。業務を通じて情報公
開制度の一端を知り、公文書館の
閲覧制度との違いも学ぶことができ
きました。

收發室の業務

県あての郵便物は收發室で一括
して受け取り、各部へ配付されま
す。こちらでは、毎週月曜日の朝
に届いた郵便物を部局別文書配布
棚に振り分ける業務を行っています。

クリーン作戦に関する業務

県では毎年度七月から九月にか
けて文書のクリーン作戦を実施し
ています。この間に各課執務室内

の文書整理、公文書館への文書引
渡しなどが集中的に実施されます。
研修では、本庁各課の文書引継ぎ
業務に関わることができました。

この研修を通じて、これまでと
違う視点から公文書館の活動を考
えることができました。同時に、

公文書館への文書引渡しを促進す
ることは、現場の事情を知り、働き
かけていくことが重要であると改
めて認識しました。今後できるだ
け多くの課を訪問し、現場の声を
お聞きしながら、文書の引渡しに
つなげていければと考えています。
派遣元の公文書館の上司、同僚、
そして受入先の総務私學課の皆様
に感謝しつつ、この研修をより実
りあるものにしたいと考えています。



本庁各課から地下の文書保存管理室へ引継がれた公文書の確認

平成二十二年度公文書講演会 「後々(あととうあととう)の世んかい 残さびら公文書」の開催

公文書管理課

富永 一也

八月十二日(木)、十三日(金)の両日、大
宮法科大学院大学准教授の早川和宏氏を
お迎えして公文書講演会を開催しました。
あわせて百五十名近い参加をいたしました。
たこのご講演の内容は、昨年七月に公布
された「公文書等の管理に関する法律」に
関するものです。同法は、国の公文書等を
「国民共有の知的資源」と位置づけている
ことから、来年四月の法施行後は、公文書
等は「國のもの」から「國民のもの」へと根
本的な転換をとげます。その変化には地
方公共団体も無縁ではありません。早
川先生には、県および市町村の職員向け
(十二日)に行政職員の成すべきことを、
そして一般県民向け(十三日)には主権者
としての県民が果たすべき役割について
お話をいただきました。

講演後のアンケートには、「早川先生の
お話を内容が大変良く、また、話し方も事
例をふまえながらわかりやすかつた」「も
っと時間をとってお話を聞きたいかつ
た」という声が寄せられました。なお、演
題の「後々の世んかい残さびら公文書」
(将来世代に公文書を残そう)は、「タイ
トルにはぜひうちなーぐち」という
早川先生の強いご希望で採用したも
のです。



特集 写真が語る沖縄

平成22年7月13日から12月26日まで、沖縄県公文書館展示室において「ミニ企画 写真が語る沖縄」を開催しています。

公文書館は数多くの写真資料を所蔵していますが、それらは決して当たり前に残ったものではなく、撮影した人、それを大切に保管していた人など多くの人々の力によって今日まで引き継がれてきました。ここでは、展示資料を紹介しながら、記録資料としての重要性やその魅力を味わっていただきたいと思います。

アメリカ統治

アメリカ統治時代の写真は、琉球政府と琉球列島米国民政府（USCAR）がそれぞれ広報宣伝用に撮影した写真が約6万枚あります。この2つの資料群は、アメリカ統治時代を検証するに不可欠な記録です。



◆南大東島を訪れる高等弁務官

サトウキビ運搬用鉄道に乗る（右から）喜名勉南大東村村長、大田昌知立法院議員、ランパート高等弁務官

USCAR広報局写真資料

写真番号59-05-4 1969年7月31日



▲佐藤総理来沖 那覇空港

那覇空港で行われた式典で佐藤総理は「沖縄の祖国復帰が実現しない限り、わが国にとって戦後が終わっていないことを承知しております」と声明を発表しました。

琉球政府関係写真資料 写真番号055655 1965年8月19日



今日私たちが見ることのできる沖縄戦の写真のほとんどは米軍が撮影したものです。米軍の残した写真の多くには詳しいキャプション（説明書き）がついており、〈記録〉としてたいへん価値の高いものです。公文書館では約2万枚の沖縄戦関係写真を収集、公開しています。

◆兵士を乗せた水陸両用車と並んで歩く幼い弟を背負った少女

米沿岸警備隊写真資料09-13-4 1945年7月17日

◆伊江島への侵攻 米軍艦ウェストバージニア（BB-48）から撮影。当時、東洋一といわれた飛行場があった伊江島は、米軍の攻撃目標とされ、激しい戦いが繰り広げられました。

米海軍写真資料（カラー）80GK-4732 1945年4月16日

個人が撮った沖縄～戦前編～

県外から公務で赴任した方や研究のため来沖した方の寄贈資料の中から、戦前に撮影された写真を展示しています。沖縄は沖縄戦での激しい砲撃や戦闘によって戦前の写真の多くを失いました。戦前の沖縄の風景を映した写真は貴重な資料です。



◆那覇港風景

五味武関係資料 資料コード0000065852

五味武氏は、1909（明治42）年に事務官補として沖縄県に赴任し、地方課長、県政実施準備委員、中頭郡長などを歴任。1914（大正3）年離任しました。在任中に沖縄で撮影された11枚の写真は、歴史研究家野々村孝男氏の仲介によって寄贈されました。



▲首里城 観会門

河村只雄写真資料 資料コードT000224328 1936年10月27日

社会学者の河村只雄氏は、1936（昭和11）年から1939（昭和14）年まで計5回にわたる民族調査で来沖し、その時に撮影された750枚余の写真がご子息の河村望氏から寄贈されました。



▲ 海沿いの集落 1947年から50年代にかけて撮影されたウィリアム・ジェンキンス氏の資料735点は、平成14年、夫人の初子さんによって寄贈されました。

ウィリアム・ジェンキンス写真アルバム 1-196
資料コード0000033548

個人が撮った沖縄～戦後編～



米国人写真家、ウィリアム・ジェンキンス氏が戦後初期の沖縄の様子を撮影した写真には、当時の住民の様子や北部の田園風景、地域行事などが生き生きと映し出されています。

また、宮城悦二郎資料からは、宮城氏が米軍機関紙「Stars & Stripes (星条旗)」の記者時代に収集した写真を紹介しています。写真の多くに掲載記事や記事の原稿・メモが添付されており、たいへん付加価値の高い資料群です。

◀ 事故写真

宮城悦二郎写真資料 54
資料コード0000033456 1967年5月

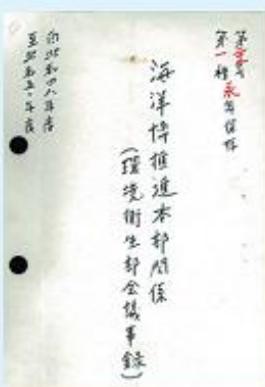
この他にも下記のような写真資料を展示しています。同時開催の常設展「公文書がつなぐ過去と未来」とあわせてご覧ください。

【ミニ企画 「写真がかかる沖縄」展示資料リスト】

No.	資料名	資料番号	No.	資料名	資料番号	
1	首里城 歓会門 河村只雄写真資料7(1/2) 写真No.55-19 1936年10月27日	T00022432B	21	新垣バス 隈崎俊武関連写真資料15 1934年	0000028544	
2	那覇港風景 停泊中の平壌丸 五味武関係資料 日付不詳	0000065852	22	首里城 守礼門 河村只雄写真資料7(1/2) 写真No.55-18 1936年10月27日	T00022432B	
3	海岸沿いの集落 ウィリアム・ジェンキンス写真アルバム1 日付不明	0000033548	23	首里城 歓会門 河村只雄写真資料7(1/2) 写真No.55-20 1936年10月27日	T00022432B	
4	那覇 端末風景 平和通り商店街 琉球政府関係写真資料184 1964年12月	写真番号051314	24	首里城 正殿 河村只雄写真資料7(1/2) 写真No.55-20 1936年10月27日	T00022432B	
5	全軍勞48時間ストライキ 第一波 不當解雇撤回要求 琉球政府関係写真資料131 1970年9月10日	写真番号036945	25	中頭郡長事務引継 五味武関係資料 1913年	0000065852	
6	佐藤栄作総理大臣来沖 那覇空港 琉球政府関係写真資料199 1965年8月19日	写真番号055655	26	オート三輪に乗る子供たち 南西諸島物資源調査写真A-3-16 日付不明	0000067268	
7	南風原に高等弁務官資金を交付 USCAR広報局写真資料4-5 1965年6月27日	写真番号27-42-4	27	オート三輪に集まる子供たち 南西諸島物資源調査写真A-3-18 日付不明	0000067268	
8	南大東島を訪れる高等弁務官 USCAR広報局写真資料11-5 1961年6月8日	写真番号44-21-4	28	転任の挨拶記念 於桃原農園 平野薰関連写真 1939年9月26日	0000028673	
9	南大東島を訪れる高等弁務官 USCAR広報局写真資料17-3 1969年7月31日	写真番号59-05-4	29	昭和会館 平野薰関連写真 1937年3月24日	0000028673	
10	大田政作行政主席視察 南風原小学校 説明を聞く主席 琉球政府関係写真資料25 1964年4月	写真番号006802	30	平野屋代両夫妻の招待室 那覇料亭三杉樓 平野薰関連写真 1939年6月15日	0000028673	
11	少年の死体 米海兵隊写真資料3 1945年5月	写真番号73-28-3	31	田園風景 ウィリアム・ジェンキンス写真アルバム1 日付不明	0000033545	
12	傷の手当てを待つ少女 占領初期沖縄関係写真資料 陸軍20 1945年6月21日	写真番号04-72-1	32	車から車外を撮った写真 少女2人 ウィリアム・ジェンキンス写真アルバム4 日付不明	0000033556	
13	戦火に焼かれる伊江島の村 米沿岸警備隊写真資料 1945年5月11日	写真番号09-09-1	33	席に座っている少年たち ウィリアム・ジェンキンス写真アルバム1 日付不明	0000033545	
14	兵士を乗せた水陸両用車と並んで歩く幼い弟を背負った少女 米沿岸警備隊写真資料 1945年7月17日	写真番号09-13-4	34	事故写真 那覇市 宮城悦二郎写真資料54	0000033456	
15	米空軍第19爆撃群のスーパー・フォートのかげで昔ながらの方 法で草を刈る労働者 基地建設関連写真 1951年11月	写真番号09-20-2	35	米軍占領後、収容所内での日本人の生活の様子。米粉用の 米をつく少女 米海軍写真資料14 日付不明	写真番号107-07-1	
16	沖縄の空中写真 米海軍写真資料11 1945年4月4日	写真番号105-40-2	36	座間味島で捕らえられた日本人捕虜 米海軍写真資料17 1945年3月28日	写真番号108-39-1	
17	沖縄橋頭堡 米沿岸警備隊写真資料 1945年4月19日	写真番号09-07-2	37	フレイザー海軍中佐 沖縄侵攻前に、乗組員に説明を行っ ている様子 米海軍写真資料17 1945年4月10日	写真番号108-40-3	
18	沖縄島にほど近い伊江島への侵攻 米海軍写真資料(カラー) 1945年4月16日	写真番号80GK-4732	38	のどを切りつけ自殺を図ろうとした地元女性を診断する ノーコス医師 米海軍写真資料15 1945年4月4日	写真番号107-28-3	
19	護衛空母サーサント・ベイ (CVE-83) 米海軍写真資料16 1945年4月16日	写真番号108-22-2	39	沖縄視察中の米海軍ニミッツ元帥と高官 米海軍写真資料14 1945年4月22日	写真番号107-11-4	
20	本部村女子警防団 物見やぐら前 隈崎俊武関連写真資料12 1940年	0000028541	40	炎上する那覇市の港湾施設 米海軍写真資料17 1944年10月10日	写真番号108-30-2	
※資料番号は公文書館資料コードまたは写真番号です。				41	耳をつんざくような上陸前砲砲射撃と上陸作戦の様子 米海軍写真資料16 1945年4月1日	写真番号108-17-4



沖縄国際海洋博覧会協力局文書
海洋博シンボルマーク関係 1972年
資料コードP00013062B
博覧会マークは、永井一正氏の制作で、
1972年7月26日に制定されました。



沖縄国際海洋博覧会協力局文書
海洋博推進本部関係 環境衛生部会議事録
資料コードP00013136B
海洋博を円滑に実施するために設置された海洋博推進
本部の文書からは、県の海洋博開催にかかる具体的な
取り組みや、その経過がわかります。

閲覧室おすすめ資料

海洋博関係資料

国が主催する沖縄の本土復帰記念事業のひとつとして、1975年7月20日から翌年1月18日までの183日間、沖縄国際海洋博覧会（以下、海洋博）が開催されました。

「海—その望ましい未来」をテーマに掲げ、各国から展示館が出展され、様々な催し物が行われました。約348万人の入場者をかぞえ、県外の方々に沖縄の自然・気候・歴史・文化を広く知ってもらう機会となりました。

また、海洋博の開催にともなって、沖縄自動車道の新設、国道58号線をはじめとする主要道路や空港、港などの交通機関の整備、上下水道及びごみ処理施設の設置等の公共事業が行われ、わたしたちの生活や環境に大きな影響を与えました。

沖縄県公文書館には、海洋博に関する資料として、沖縄県総務部文書学事課から受入れた「沖縄国際海洋博覧会協力局文書」や財団法人海洋博記念公園管理財団から受入れた資料があります。これらの資料は、沖縄の復帰直後の社会資本の整備や経済開発を検証するうえで貴重な資料です。

現在、当館で開催している常設展「公文書がつなぐ過去と未来」でも海洋博に関する資料が展示されていますので、この機会にぜひご覧下さい。



Q 昔、県の事業で自分の父
が所有していた土地を提供した
ようです。その記録を見たいので
すが、どうすればいいですか。



A まず、土地を提供した事業名がわかるとより探しやすくなります。どういった事業名か（例：「土地区画整理事業」「土地改良事業」など）、ご自宅に残っている書類をご確認下さい。その後、公文書館に、「〇〇年の△△事業に関する資料について」というようにお問い合わせをお願いいたします。資料によっては、個人情報が含まれる場合や著作権法上閲覧を制限しているものもありますので、ご来館の前に閲覧担当までお問い合わせ下さい。

閲覧室

Q&A



Q 自分の持っている資料を寄
贈したいのですが、どのような手續
きが必要ですか。



A 県公文書館資料の収集基準に照らしての受入となりますので、事前に協議が必要とされます。どのような内容の資料かをお聞きいたしまして、担当者から後日受入れるかどうかのご連絡を差し上げます。資料管理の観点からも、寄贈希望の資料のお持込みは担当者からの連絡をお待ちになってからお願ひいたします。

ちょっとそこまで！ 公文書館見学ツアー

南風原町新川に高くそびえる赤瓦の大きな建物・公文書館(こうぶんしょかん)、
ちょっと、立ち寄ってみませんか？

琉球・沖縄の歴史資料の宝庫・公文書館をご案内します。

通り道で何度も見てはいたが、そこはどんなところか？何をするところか？ 疑問をもった方にお勧めの企画です。字誌や地域史編さんの自治体、個人史、社史などに活用できる資料の紹介や検索方法等、見学希望者のご要望に応じて、公文書館内を職員がご案内します。

■実施期間：2010年4月1日～2011年3月31日 火曜日～金曜日
午前10時～午後4時 ※（土日・月・祝日は除く）

■内容：公文書館講堂→展示室→閲覧室→ミニシアター→館内（書庫・修復室等）
*コースは、当館業務の都合により、変更する場合もあります。

■案内：久部良和子（公文書主任専門員）

■参加費：無料

■参加申込方法：公文書館事務室へ申込書を提出してください。
時間・人数などご相談させていただきます。
(人数制限：5名～15名) ※3週間前に提出

連絡先：沖縄県公文書館 (TEL 098-888-3875 / FAX 098-888-3879)



公文書専門員から閲覧室の利用方法や検索について説明を受けたあと、移民、産業、民俗、写真班など委員それぞれテーマを決めて資料の検索を行いました。

写真の閲覧申請や複写方法、著作権について説明を受けました。



うるま市字石川誌編集委員会のみなさん



講堂で戦前・戦後の映像資料をご覧になりました。

展示室で公文書専門員からの説明を受けながら常設展をご覧になりました。



糸満市与座区自治会のみなさん

沖縄県公文書館紹介映像 ホームページに登場！

公文書館では、より広く公文書館のことを知つていただくために案内映像「沖縄県公文書館の役割と利用案内」(未来へ歴史資料を引き継ぐために)を作成しました。公文書館内または当館のホームページ上でご覧いただけます。

内の様子をじっくりとみることができ、また様々な資料を概観することができます。

ホームページのトップ、「公文書館の紹介」からお入りになり是非ご覧ください。



交通案内



バスのごあんない

- ・那覇バス（株） 1・2・3・5・15番線
新川営業所下車1分
 - ・東陽バス（株） 91番線
新川バス停下車1分

平成二十二年六月二十七日に好評のうちに終了した「海の沖縄戦展」。その内容を凝縮した「バーチャル展示」をホームページに掲載しています。ホームページトップ「公文書館通信」の「バーチャル展示」からお入りになりご覧ください。

バーチャル展示 「海の沖縄戦展」開催中

